

義務教育学校建設に関するアンケートの内容一覧

No.	内容
1	<p>校庭で運動会が出来るほどの広さが、確保出来るのか？</p> <p>学校イベントなどで、車で来校する保護者の駐車スペースが確保出来るのか？</p>
2	<p>現段階で決まった事項について、今後変更等が生じる可能性はなるのか（造成などの問題で再度場所の選定が必要になる等）</p> <p>来年村長選があるが、万が一村長が変更した場合、建設に支障（計画の変更等）は生じるのか？</p> <p>建設に伴う道路の拡幅や通行止め（棚倉鮫川線側）の予定や、信号機の設置予定はあるのか？</p> <p>小中学校の機能のみの建設か、教育委員会や公民館の機能も入れるのか</p> <p>現在の子どもの人数や出生数から、将来複式学級になる可能性が高いが、教室の数や利活用についての計画は？</p> <p>義務教育が出来た後、現在の小中学校の扱いについてはどうなるのか？</p> <p>いつまで青少年グラウンドが使えるのか、使えなくなった場合の代替場所は？</p>
3	<p>建設費用はどうなりますか</p> <p>村の負担分はどのくらいですか</p> <p>設計、造成、建設はどの業者が請け負いますか</p>
4	<p>青少年広場ではなく現在ある校舎の建てかえでいいのではないか。</p> <p>青少年広場に校舎を建てている場合、村行事等で使うグラウンドはどうするのか。</p>
5	<p>子どもが生まれなかった年(生徒0人という学年)がとても近い未来のような気がする。それを踏まえた規模の学校で良いと思う。</p>
6	<p>どこまで話が決まっているのかがわからないので、どの段階での意見や要望を伝えれば良いのか不明です。鮫川村は人口減少が凄まじいので、そもそも新たな建物をわざわざ別の場所に増やす必要性を全く感じず、不安を感じている保護者会が大半だと思っています。年々子どもの数が減っているので、新しい学校ができた頃には通う子どもがいなくなってしまうのでは？と疑問に感じています。今ある施設やサービスをさらに充実するためにお金を使って欲しいのが本音です。ただ、村で協議を重ね、義務教育学校を建てることを決定しているので、今後の生徒数を考慮して小規模な学校を建て、安全を第一に、教育の質は下がることのないようにして頂ければと思います。こどもセンターは、今の保育方針、保育体制を崩してほしくないなので、無理に新たな施設に入れ込まない形で良いと感じています。グラウンドを潰すのであれば、他の整備されたグラウンドが必要ですし、小学校中学校の校舎を使用しないのならば解体し綺麗な状態にしてほしいです。なるべく森林伐採を避けて、村の自然を保つこともお願いしたいです。</p>

No.	内容
7	<p>1. 親の納得なき建設は「村外流出」を招く</p> <p>そもそも「学校建設ありき」で進んでいないでしょうか。子を持つ親、特にこれから先、村の税金を背負っていく働き盛りの世代の意見を、真摯に聞く環境作りを怠ってはいないでしょうか。親が納得しない学校を作っても、子が育つ過程で「この村は良いところだよ」と語り継ぐことはできません。つまり今の子供たちが村に残る確率が減ると言う事です。現状、魅力のない箱物行政に対し、村外への転出を現実的に検討している親御さんが複数いるという事実を、重く受け止めていただきたい。</p> <p>2. 「里山景観維持」の虚構と専門的知見の欠如</p> <p>村は里山景観の維持を掲げていますが、3月4日の重雪被害の惨状はどうでしょうか。コスト面（財政）も比例して言える事ですが、正しく「知識」に基づき、維持ではなく”正確な「再生」”がなされていれば、公共機関への影響は少なくとも3分の1に減らせていたはずですが。現場の惨状を見れば、今の村の管理がいかに「形だけ」であるかは一目瞭然です。何をそんなに焦っているのか。中途半端な「無いものねだり」の計画は必ず失敗します。</p> <p>3. 「豊かな自然」こそが最強の教育コンテンツである</p> <p>県内外の成功事例を見れば、地域の独自性を活かした施策こそが成果を上げているのは明白です。今どきの均一化された学校環境を求めるなら、親は都会を選びます。「昔ながらの樹木だらけ、植物だらけ、山だらけの中に校舎がある」——この村にしかない圧倒的な独自性をなぜ活かさないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 校舎付近にある樹木から木漏れ日が入る教室（エコと精神安定） • 樹木による天然の日陰（実効性のある熱中症対策） • 窓の外に広がる多様な樹種（学力向上へのエビデンス） <p>※上記3点は科学的根拠があります</p> <p>どこにでもあるような現代的な校舎ではなく、樹木や植物に囲まれた「森の中の学び舎」こそ、本村が目指すべき姿ではないでしょうか。これらが揃ってこそ、自然を愛し、中山間事業や里山再生に積極的に参加してくれる「意識の高い移住者」を呼び込めるのです。</p> <p>4. カーボンニュートラルとの乖離</p> <p>福島県が2021年から始動した「カーボンニュートラル」の指針に照らし合わせても、現在の建設予定地は将来的に見てあまりにかけ離れています。風向き、陽当たり、地形、周囲の植生。これらを考慮せずして、どうして「子どもたちの心豊かな教育」が語れるのでしょうか。学力を伸ばす以前に、心健やかに過ごせる環境を整えることこそが、村政の最優先事項であるはずですが。</p> <p>5. 結論：今こそ「正確な英断」を</p> <p>今の計画は、人口を減らすばかりの「ただの義務教育学校」に過ぎません。村を愛する一人として申し上げます。今はまだ、この巨大なプロジェクトを成功させるための土台作りが圧倒的に足りていません。一度立ち止まり、現場維持を選択することも一つの勇気です。今一度冷静に、未来に責任が持てる「正確な英断」を期待しております。</p>

No.	内容
8	<p>長文ですが、5分だけお時間を頂き、読んで頂ければ幸いです。</p> <p>今の村長、教育長は、なぜ躍起になって学校建設を強行するのでしょうか？2年前に構想委員会には私も保育園の保護者会長として参加しましたが、メンバーは幼小中の先生ばかりで、教育長に物を言えない方々ばかり。それから半年後8,000万円の設計費を投じて出来た構想設計後、村民説明会を行いました。予算も明確に示せないのに教育長が強行突破。しかも、村の持ち出しも全く見えない説明会。それからほどなくして、構想がいったん白紙へ。理由は建設予定地は『崖地』で危ないから。調べればすぐ分かるのに。8,000万円の無駄。</p> <p>それからの第二案。村が4年ほど前に、県からの補助金で、整備したての村民グラウンドにその学校を建てる！と教育長がまた強行。私も参加した2年前の構想委員会では、そこに建てる県からの補助金を県に返さないといけないので、予定地として外していたのに。補助金7,000万円を県だかに返し、道路や造成を投じて、30億ほどで上物（建物）を建てようとしています。しかも、令和11年を目標に。早く建てたいのが、見え見えです。（学校って3年で造るものなの？）なぜそんなに急ぐのか。2025年度の出生は3人（涙）現在幼保連携こどもセンターは約75名の子ども達（前年は100名）、村一校の小学校は約90名の児童、中学校は約55名の生徒。鮫川村は顕著に子供たちも減っています。（家族で村外にながれているのも要因）</p> <p>第二弾の建設構想に至っては、構想から半年。しかも当初、教育長は『説明会をしない』と村民に豪語。他の地域なら暴動レベルです。私は建設が反対ではなく、しっかり順追って、本当に必要なのか？もし建てるなら村の持ち出しはいくらで、村民税など村民負担はいくらになるのか？単位建てないなら、今の施設をどうしたら良いか？など区でも説明会をしたりして、村民をもっと巻き込んで、行くべきだと思います。だって、毎年予算25億ぐらいの村で造成費含みで40億ほどの箱物を建てるのだから、子どもら、孫ら、ひ孫らに響いてきます。最低でも村のこれから50年を占う、『賭け』だからです。村民の負担が増えてしまうと、人口流出もさらに伸びます。あまりに強行で、役場の職員は「何を言っても話も聞いてくれない」と嘆いています。始めは説明会しないと言っていた教育長でしたが、4/3に保育園で保護者対象で行い、4/22に小中学校の保護者を対象に村の公民館で行われます。これはパフォーマンスでしょうか？どうか、しっかりと地に足の着いたご検討の程を宜しくお願い致します。</p>
9	<p>義務教育学校建設の件に対して、反対者は既に転出してしまっている、または転出する計画で、村外に家を建築している家族もいる事を知らないのでしょうか。みな、子を持つ家族です。</p>
10	<p>建設をしなくてはいけない事実は分かりますが、もっと、極端に鮫川村独自の学校を建設するべきでは？話題性を呼び、人も呼び込むと思います。</p>
11	<p>今の建設予定地よりも、もっと山林の中とか、鮫川村らしい昔の様な山学校の様な義務教育学校の方が魅力もあるし、子供たちも心豊かに健やかに育ってくれそうだと思います。地元の業者さんなどを利用したり、施工済みの山林には、作業道が入っている。それを上手に利用（里山環境問題の視点）して学校生活を送れるのも、他に類を見ない鮫川村独自の魅力になるのでは？</p>
12	<p>現場の建設予定地、建設予定の構造に反対。今やろうとしている事は独裁と変わらない。村外の人を介入させるのも良いけど、まずは村民ではないだろうか。村民ファースト、鮫川村ファースト、鮫川村の未来を現実的に考えて欲しい。</p>

No.	内容
13	このままの村では子供の為の魅力が自然以外に何も無いので、学校生活の環境が村外と変わらないのであれば、利便性の良い村外へ引っ越す事を考えている
14	建設は良いですが、鮫川村の貴重な山を削り樹木を、植物たちを犠牲にする事でしょう。なるべく、そういった生き物たちをあまり犠牲にしてほしくないです。
15	小学校、中学校の建物が古いのは分かりますが、子供の人数が少ない。また、村の住民も少なく、若手がない、財政難なのにどのような予算があるのでしょうか？県や国からの補助、支援にも限度があると思います。建てるとしても必要最低限にして欲しいと思います。役場の様に無駄に広いのはやめて欲しいです。
16	どの施設も老朽化しているので建設したほうが良い。 これから子育てをする世代においてはこどもセンターも同じ敷地内に一緒に建設すると尚便利になると思う。 道路から学校までの進入路が狭いので安全に通行、登下校できるようにして欲しい。
17	小中学校は一貫校にすることはいいと思いますがこどもセンターはあと25年ぐらいは建物ももつということなのでそのままでいいと思います。 子供も年々減っていってるのでお金をかけて小中学校こどもセンターを1箇所にする必要はないかと…それに子供たちはお昼寝があるので、チャイムの音や小中学生たちの声などで眠れないのでは…や、校庭や園庭が近いと怪我をしたりと心配です。送迎の面でも事故などの心配があると思います。
18	既存の小学校、中学校に立て直す事は不可能なのでしょうか。中学校も、小学校も、教室が余っている状況。そこを上手に利用し、わざわざ大掛かりな森林破壊（伐採や、山を崩す）しなくとも、最低限で済むはず。
19	特にありません
20	少子化の中での小中一貫校の新設となりますが、村にこれからどれだけの子供が増えるのか。今の高校生等が村に戻って生活したいと思える村づくりが必要かと思えます。高校に入学する節目で村を出る世帯も少なからずあります。その事を含めて無理のない規模や財源で計画を実行していただきたいと思えます。
21	東白川郡全体でも、生まれる子供の数が少ないと聞いています。これから、どんどん少なくなると思えます。そのような時代に合わせ広域的に義務教育学校を建設するような方法は検討しないのですか。鮫川村では、10年後、何人の子供が生まれますか。新入生はいるのでしょうか。子育て世代はいるのでしょうか。若い世代はいるのでしょうか。建設について、もう一度じっくりと検討してほしいです。よろしくお願ひします。
22	すべての学年をそれぞれまとめられるか。

No.	内容
23	<p>少ない児童生徒でも、あえて莫大な費用をかけて学校を作るのですから、きっと教育委員会はなるべく借金しなくて済むように、他の財源や手法を考えているはずだと思いますので、その内容を明らかにして、財政状況には不安がないことを証明してください。また、ネットを検索すると、他の市町村では、基本設計ができた段階で、設計のコンセプトや基本方針、建物の配置、外観・内観のイメージ図、整備費用、スケジュールを公表していますが、いつ公表されるのでしょうか。広報やホームページで学校建設の情報が少なすぎるのは、説明していないのと同じだと思います。</p>
24	<p>青少年広場に建設にあたって</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.校庭が狭いのではないか。 2.中学校の野外で行う部活動はどこで行うのか。（野球やテニス） 3.県道から校舎までの道が交差できないので、拡幅するのか、又は一方通行とするのか。 4.歩道もない道路では、子供たちの交通安全が保てない。 5.鮫川村での子供の人数が激減しているが、無駄な投資ではないか、山村留学での生徒確保または、他町村との教育部門合併など検討しているのか。 6.新築にあたり旧小学校や旧中学校はどうするのか。 7.過去の青少年広場の修繕に関わった補助金の返済はどうか。
25	<p>少子化で児童数もどんどん減少している。どうせ建てるなら、隣町と合同や東白川郡で1校とかには出来ないのか。こどもたちにとっては部活動など色々選択肢が増えるのではないかと思う。</p>
26	<p>教育長さんに聞きたいです。学校を建てた後の鮫川村はどうなっていますか。</p>
27	<p>小中学校は改修して使うことにして、こどもセンターは大きすぎるから壊して、中野に新しく建てたらいいんじゃないですか？</p>
28	<p>学校建設に関して、令和11年度の開校との事ですが、果たしてその短い期間で、本当に出来上がるのか不安を覚えます。また、これから人口減少が見込まれる中で、果たして立てる意味があるのか疑問です。</p>
29	<p>鮫川村ならではの教育に特化した環境、体験施設があると良いなと思いました 四季折々を感じられる景観もあると良いですね</p>
30	<p>教育長さんにお伺いします。ホームページ（小中一貫教育に向けた取り組みについて）を見る限り、基本計画ができた後、協議会や議会への説明はありますが、村民への説明がなかったのはなぜでしょうか。説明・公表の責任はあったと思います。</p>
31	<p>造らなくていいと思います。</p>
32	<p>義務教育学校の開校が楽しみです。</p>

No.	内容
33	<p>村の子ども達が学べる環境ですが、予定地の青少年広場も村の税金を投入して整備しているので、その当時の費用や使って何年経っているなどの説明なども、村の施設なので村民の人は知りたいと思っている人もいて、子どものいない人などに私たちは子どもがいるからと学校設立の事を聞かれても、説明できないので、今回の学校設立に関しても村の税金を使うので、村民に広く情報共有と意見を聞く説明するために、各区などに行って村民と対話するのも必要なかと思いました。</p>
34	<p>鮫川村の子ども達（0～15才）が同じ敷地で一貫性のある教育を受けられる環境を整えてほしい。</p> <p>こどもセンターの建設が同時になるか分からないと聞いたが、親としては同時に建設してほしい。子どもが減る中で、同じ場所であればPTAや保護者会などこどもセンターと小学校と中学校が協力し合って子どものために関わることができると思う。それぞれの場合、役員の数もそれぞれに必要になり、負担が大きい。地域の子どもも減っているので、その辺りも考慮してほしい。草刈りや行事も一つの場所であれば協力し合うことができ、負担も減ると思う。</p> <p>建設場所は決まりなのか？どのくらいの学校、こどもセンターの規模なのか（何人くらい）？それによってもかかるお金が変わってくるのではないか？情報が少なくわからないことが多い。</p>